

かつしか 区議会だより

第1回定例会

2月	20日	本会議（議案の付託等） 予算審査特別委員会
	21・25日	常任委員会
	26日	議会運営委員会
	27・28日	本会議（代表質問、一般質問 議案の議決等）
3月	3～11日	予算審査特別委員会
	12～17日	常任委員会
	19～24日	特別委員会
	26日	議会運営委員会
	27日	本会議（議案の議決等） 常任委員会 議会運営委員会

主な内容	2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか
------	---

NO.193 平成20年(2008年) 4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎ 3695-1111 FAX 5698-1543

平成20年度予算が成立

地方自治体の安定的財政運営のための道路特定財源の確保に関する意見書を可決

今回の定例会では、区長の所信表明を受け、5会派からの代表質問と、10名の議員から一般質問が行われました。

また、平成20年度葛飾区一般会

計予算をはじめとする区長提出議案等39件と、地方自治体の安定的財政運営のための道路特定財源の確保に関する意見書など、議員提出議案7件が可決されました。

立石さくら通り



可決された意見書（要旨）

今回の定例会では次の意見書7件を可決し、関係機関に送付しました。
（件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は8面に掲載）

地方自治体の安定的財政運営のための道路特定財源の確保に関する意見書 分

国会に対し、貴重な地方の財源が地方自治体や地域の暮らしに与える影響を真摯に直視し、今後の地方自治体の安定的財政運営を確保するという観点からも、道路特定財源を維持するための関連法案の年度内成立を図るため最大限の努力をするよう、強く求めるものである。

地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書

政府に対し、平成20年度予算案に計上された地上デジタルテレビ放送関係予算の着実な執行と併せ、次の事項について、政府を挙げて取り組むよう、強く求めるものである。①視聴者側の受信環境整備に伴う負担軽減のための方策を強力に進めること。また、経済的弱者への支援策について、早急に内容を検討、決定すること②今後、地上デジタルテレビ放送に関する相談が飛躍的に増加することが見込まれるため、「地域相談・対策センター」を各県毎に整備し、アウトリーチのサービス体制を整備すること③デジタル中継局整備や辺地共聴施設整備について、地方自治体の過度の負担とならないよう放送事業者等との調整を図るとともに、自治体負担の場合の支援策について新設も含め拡充すること④都市受信障害については、各地域の実情を把握の上、良好な受信環境の整備を図り、情報格差が生じないように努めること

「バイオマス推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

政府に対し、現在、政府が進める「バイオマス・ニッポン総合戦略」を総合的かつ計画的に推進するためにも、同基本法の制定を強く求めるものである。

中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書

政府に対し、わが国の企業の99%を占め日本経済を支える中小企業が健全な経営環境を取り戻し、地域経済の発展に寄与するため、中小企業底上げ対策の一層強化をはかるよう、次の事項の実施について強く求めるものである。①中、小規模企業の金融支援をトータルに行うための「中小企業資金繰り円滑化法」(仮称)を早期に制定すること②各省庁所管のもと、数多くある中小企業相談窓口を一本化すること③公正な取引を実現するため、下請代金支払遅延防止法を厳格に運用すること④下請適正取引のためのガイドラインの周知徹底を行うこと

筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の救済を求める意見書

政府に対し、次の事項の実現について、強く求めるものである。①できる限り早急にエダラボンの治験データを収集し、安全が確認でき次第、ALS健康保険適用薬として認可すること②介護する家族の負担を軽減できるよう、家族以外の者による経管栄養摂取の許可や障害者自立支援法の重度訪問介護報酬の増額等、社会的支援体制の充実をはかること③ALSの原因究明と完治に関する研究費の増額をはかること

輸入食品の検査体制の強化を求める意見書

政府に対し、国民の安全、安心を基本におき、次の事項の改善を強く求めるものである。①輸入食品の検査率を現在の10%から引き上げるために食品衛生監視員を抜本的に増員すること②モニタリング検査は検査結果が出る前の流通を認めているため、食品汚染を発見しても国民の口に入った後という事態が起きている。国民の食に対する安全、安心を確保するため、有効な食品検査に是正すること

年金記録問題の速やかな解決を求める意見書

政府に対し、年金記録問題を速やかに解決し、すべての国民が納付した保険料に見合った年金をしっかりと受給できるよう、次の事項を含む政策の実施を強く求めるものである。①年金記録問題の解決には、関係省庁はもとより、政府を挙げて全力で取り組むこと②全国の社会保険事務所や市区町村に散在している古い手書き台帳と、コンピュータ記録とを照合し、コンピュータの記録を正確なものにすること③「ねんきん特別便」の送付にあたっては、国民の立場に立って、分かりやすい書面にするよう努めること

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く

代表質問(要旨)

葛飾区議会公明党

全国に誇れるナンバーワン・オンリーワンの葛飾の実現を

青木区長の公約もしくは基本計画の進捗状況とその実現に向けた今後の課題

問現時点で、区長の選挙公約や基本計画の進捗状況と今後の課題解決について、任期中の迅速かつ着実な実現のため、ロードマップや区長の決意を区民に示すべく考えるがどうか

答公約を中心として、子育て広場や保育所設置、子ども医療費助成等103事業が概ね80%超、一時保育事業等17事業が40から80%程度進捗し、水元フィットネスパーク構想や保健所等建替え、大学誘致等16事業は実施に向けて課題がある。20年度には中期実施計画を策定するため、事業一つひとつの成果を踏まえた達成度を検証し、一層のサービス向上を目指し自ら先頭に立ち全庁一丸となって取り組んでいく。

他区に誇れる葛飾らしい街づくり
問23区の中で最も空気のきれいな区にすべきと思うがどうか

答区内測定局では二酸化窒素、浮遊粒子状物質とも環境基準を達成しているが、基準未達成のものもある。空気をきれいにするには自動車公害対策や工場等の規制、水辺空間の整備などを効果的に進める必要がある

自由民主党議員団

公共施設老朽化対策と子育て、教育の充実を

特別区民税 特別区交付金の計上
問平成20年度当初予算では特別区民税を納める人が増えたこと等から増額を見込んだと説明があったが、どのような背景があったのか

答平成20年度の特別区民税の見積りにあたっては、19年度課税分の課税所得をベースに、直近の経済指標などを勘案するとともに住宅ローン控除などの税制改正の影響や人口増に伴う納税義務者数の増等を盛り込んで税収を見込んだ。

総合庁舎の建替え



総合庁舎

区政を聞く

一般質問(要旨) 4面まで続きます

葛飾区議会公明党

地球温暖化対策への取り組みと区民の視点に立った施策推進を

地球温暖化対策

問区民等の代表者による検討会で、区事業者、区民の役割や責務を明確化した条例制定が必要かと思うがどうか

答地球温暖化対策地域推進計画案の中で、策定後も区民参加の協議会を設置予定であり、条例の必要性も含め温暖化対策を検討する予定である



JR 新小岩駅北口

問南北自由通路整備工事に伴う、今後の北口駅前広場の整備の見通しについて伺う。

問京成高砂駅の立体化と高砂駅周辺の街づくり



資源・ごみ集積所

問大気汚染や川の水質測定などは本区だけで解決できるものではない。連携はどのようになっているか

問男女共同参画

自由民主党区民会議

区民の立場に立ち、きめ細かな行政サービスの実現を

問区民の生活実感をどのように認識し、今後どのような区政運営を進めるべきか、考えを伺う。

答景気後退への不安を感じる区民も多しと認識している。経営改革への不断の取り組みや区民の生活実態を踏まえ、必要な基金を計画的に積み立てることで、中長期的な財政対応力を堅持していきたい。

問区民が夢と希望を持って暮らせる葛飾をどのように実現していくのか

問平成20年度予算
問区の財政構造をどのような仕組みと

問日本共産党葛飾区議会議員団
若もの雇用の安定化を

問2008年度区予算案
問後期高齢者医療制度は欠陥制度であり、「廃止」以外に選択の余地がないと思うがどうか

問後期高齢者医療制度は欠陥制度であり、「廃止」以外に選択の余地がないと思うがどうか

問今後、区内事業所の状況についても慎重に見守ってほしい

問都民の暮らし・営業を支援し

問低利の「緊急資金融資」の条件を緩和し、原材料の値上げや社会的諸条件も加味するよう改善すべきと思うがどうか

問都民の暮らし・営業を支援し

問都民の暮らし・営業を支援し

問都民の暮らし・営業を支援し

問都民の暮らし・営業を支援し

問都民の暮らし・営業を支援し

自由民主党議員団

安定した財政基盤を作り上げていくのか、中長期的な見解を伺う。

問若い子育て世代が不安を解消し子育ての見通しを立てられるようにするため、今後あるべき子育て支援の方向性を伺う。

問600台の駐車場の計画が前提となっており、地権者だけの問題ではなく、交通問題やまちのあり方という立石駅周辺、まち全体の課題となった。そう言った以上、再開発問題は強行するのはやめ、いったん白紙とし、駅前広場の都市計画決定もやり直す必要があるのではないか

問後期高齢者医療制度は欠陥制度であり、「廃止」以外に選択の余地がないと思うがどうか

問都民の暮らし・営業を支援し

自由民主党議員団

子育て支援行動計画の改訂にあたり、需要調査を行う。的確に需要をつかみ同計画に反映し、子育てするならば葛飾を実感してもらえような施策を実施していきたい。

問後期高齢者医療制度の導入に伴う葛飾区らしい対応について伺う。

問大学誘致はまちづくりのリーダー、プロジェクトとしての役割は大きい。地域の将来像について等、議論が絶対的に不足している。今後、どのように議会や地域と話し合いを進めていくのか

問大気汚染や川の水質測定などは本区だけで解決できるものではない。連携はどのようになっているか

問都民の暮らし・営業を支援し

問第3次葛飾区男女平等推進計画の5年間の目標と事業を伺う。

答女性の権利が尊重される社会づくりなど5項目を基本目標とし、情報誌による啓発など91事業を掲げている。

※他の質問項目 人権教育 など

超高齢化社会を展望した体制と今後の教育振興ビジョン

問高齢者に対するサービス向上策として、問い合わせや手続き等を総合的に進める仕組みを構築すべきと思うが対応を伺う。

答国保年金課に待合スペースを確保するとともに窓口案内を専門に担当する者を2名配置する。

※他の質問項目 窓口整備 など

教育振興ビジョン

問国の学習指導要領の改訂を踏まえ、今後、教育振興ビジョンのあり方をどのように考えるのか伺いたい。

答学習指導要領の改訂の趣旨や内容を十分に踏まえ、教育振興ビジョン改定検討委員会などで議論していく。

※他の質問項目 外部評価 など

自由民主党区民会議

環境問題への積極的取り組みと大きな夢のある街づくりを

温暖化対策

問本区環境教育・普及啓発の方針と今後の取り組みについて伺う。

答あらゆる年齢層・主体に対する環境学習の機会の提供、実践的な環境活動を行うリーダー的人材の育成・活用をしていきたい。具体的取り組みとして小中学校の環境教育の充実、エコリーダー養成講座、省エネ教室、緑のカーテン講習等を展開していく。

※他の質問項目 自然エネルギーの積極的な活用 など

清掃事業

問世田谷区が条例違反として告発した

資源ごみ抜き取り業者に対し「逆転有罪」の控訴審判決があった。本区も資源ごみの抜き取り防止対策に積極的取り組み、条例化も考え対策を講じるべきと思うがいかがか。

答本区も条例化を視野に入れた検討を開始した。今後、上告審の状況や近隣自治体の状況等を勘案し、警視庁・検察庁とも十分に協議しながら具体的な検討を進めていきたい。

※他の質問項目 レジ袋有料化 など

葛飾区の都市基盤整備と街づくり

問新金貨物線の旅客化を検討し入れた新中川沿川の街づくりを考えた場合、本区の中央を流れる中川・新中川と一体となった街づくりを巨目事業に位置付け、これからの大きな夢のある街づくりとしていくべきと思うがいかがか。

答この沿川においては新宿六丁目の大講学致構想、西水元水辺の公園、青戸六・七丁目の桜つつみ整備事業や桜つつみと一体となった公園整備など特徴的な空間が現出されてくる。これらのプロジェクトを推進することで、河川を活用した夢のある街づくりを進めていきたい。

子育て支援

問認可保育園より高く設定されている認証保育所などの保育料そのものを軽減する考えはあるか。

答制度の違いはあっても通う施設の間で、できる限り負担に差のないことが望ましいと考えており、今後改善に向けた検討をしていく。

※他の質問項目 保育料の多子軽減策

日本共産党葛飾区議会議員団

「子育てするなら葛飾で」にふさわしい保育園・学童増設を



三和橋

子ども家庭支援センター

子ども家庭支援センター

問身近な相談窓口として金町子ども家庭支援センターは存続させるべきか。



都営高砂団地

答基幹型児童館でも専任職員を配置し、子育てひろば事業を拡充すべき。

答基幹型児童館では、常勤職員を中心に同事業を実施しており、地域館での実施も増えている。

※他の質問項目 センターでの継続

学童保育クラブ

問放課後児童クラブガイドラインに沿って、70人以上のクラブの解消のため、増設計画を持つべきである。

答平成17年度以降、6箇所増設し、20年度に2箇所増設予定である。今後、も真に必要な地区に増設していく。

※他の質問項目 公立学童縮小 など

高砂団地建替えに伴う問題

問建替え後も団地に戻ることが希望して都営住宅などに仮移転した住民は、平成23年度完了する1期建設に優先的に戻すべきと思うがどうか。

答東京都は居住者の意向を確認すると聞いています。区としても居住者の意向を十分踏まえるよう要望していく。

※他の質問項目 団取り など

地球温暖化対策

問地球温暖化対策地域推進計画に削減目標を掲げるべきではないか。

答実際に行動し実施する具体的な事業量をもって削減目標とし、実効性のある計画を策定する。

※他の質問項目 区の事業活動 など

三菱製紙跡地開発

問三菱製紙跡地と都市計画公園について、説明会や広報で知らせるべきである。答これまでも説明会を開催したが、今後、地域の方々に正しい情報を伝え、意見を伺いながら進めていく。



DV相談

問DV対策で本区の果たすべき役割と高砂団地建て替え

答DV関係機関連絡会を開催し、情報の共有化、関係機関との連携はどのようになっているか。

※他の質問項目 金町駅の混雑 など

民主党葛飾

問高砂団地建て替えを契機に連続立体交差事業に弾みをつけたいが、いかがか。

答地元の悲願を実現する上で、東京都との調整をしっかりと行う。

※他の質問項目 住民への説明 など

高齢者の防災対策

問平成22年の火災警報器設置義務化に備え、高齢者世帯に給付、設置すべきではないか。

答見守り型緊急通報システムの周知を図り、高齢者の防災に努める。

※他の質問項目 電磁調理器の助成

教育委員の増員

問行政改革の経緯から、時期を見計らって元の5名に戻すべきではないか。

答増員はよりよい教育行政実現のために行った。今後の検討課題とする。

※他の質問項目 増員することの所見

葛飾区立中学校における学校指定物品の業者選定

問業者の選定過程を透明化すべきと思うがいかがか。

答指定には適正な取扱いをすることが大事であり、各学校に指示していく。

※他の質問項目 処理経路

問高砂団地建て替えを契機に連続立体交差事業に弾みをつけたいが、いかがか。

答東京都は居住者の意向を確認すると聞いています。区としても居住者の意向を十分踏まえるよう要望していく。

※他の質問項目 団取り など

高齢者の孤死

問昨年の実績を伺う。また、実態把握を継続すべきと考えるが、いかがか。

答孤死死数は合計20名。今後とも警察署と連携をとって、実態把握に努めていきたい。

※他の質問項目 必要な人材の配置

感染症対策

問新型インフルエンザの対策には横断的・多角的な危機管理体制と対応の仕組み作りが重要である。感染症対策本部長となる区長の考えを伺う。

答健康危機管理対策基本指針を策定し体制を整えている。新型インフルエンザの対策には、危機管理対応指針も活用し、全庁的に対処し、国民の健康と生命を守っていく。

問新型インフルエンザ対策行動計画を地域性に即して示すべきである。進捗状況と策定計画を伺う。

答国及び都の同計画と連動した本区の行動計画について、具体的に検討している。この計画に沿って、さらに具体的なマニュアルを作成する。

※他の質問項目 緊急推進プランの策定 など

葛飾区民連合

問葛飾区民連合の強化と専門非常勤職員の確保

答現在、危機管理の専門技術や知識を持った警察や消防関係の専門非常勤職員等を確保し、職員の能力の底上げを図っている。今後も、すぐれた学識と実務能力をあわせ持つ人材を確保することで、本区の危機対応能力を高められると考える。

※他の質問項目 研修時の図上訓練導入 など

葛飾区民連合

問葛飾区民連合の強化と専門非常勤職員の確保

答現在、危機管理の専門技術や知識を持った警察や消防関係の専門非常勤職員等を確保し、職員の能力の底上げを図っている。今後も、すぐれた学識と実務能力をあわせ持つ人材を確保することで、本区の危機対応能力を高められると考える。

専門非常勤職員の確保

問葛飾区民連合の強化と専門非常勤職員の確保

答現在、危機管理の専門技術や知識を持った警察や消防関係の専門非常勤職員等を確保し、職員の能力の底上げを図っている。今後も、すぐれた学識と実務能力をあわせ持つ人材を確保することで、本区の危機対応能力を高められると考える。

※他の質問項目 研修時の図上訓練導入 など



感染症関係機関連絡会

平成20年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,495億5,000万円	2.9%
国民健康保険事業特別会計	515億7,700万円	1.2%
後期高齢者医療事業特別会計	68億6,700万円	皆増
老人医療事業特別会計	33億6,700万円	-88.8%
介護保険事業特別会計	213億7,300万円	0.6%
駐車場事業特別会計	3億9,820万円	-0.2%
合計	2,331億3,220万円	-6.2%

区民一人当たりの予算額(一般会計)

高齢社会への対応や健康づくり等、福祉と衛生に	126,238円
小中学校の運営や生涯学習の支援などに	39,615円
災害対策や地域活動、文化振興などに	54,924円
道路・公園整備やまちづくりに	40,879円
清掃事業や環境対策に	16,046円
中小企業に対する融資など産業経済に	7,230円
特別区債の償還などに	10,514円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	40,484円
合計	335,930円

人口は442,715人(平成20年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません

2月20日の本会議において、平成20年度各会計予算案6件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

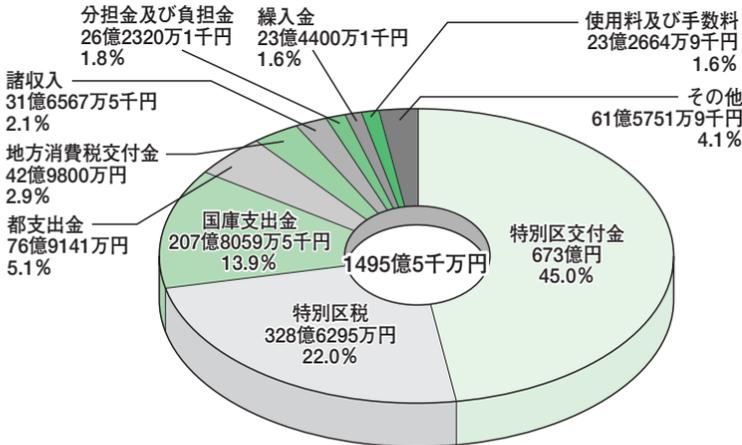
予算案は、3月3日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

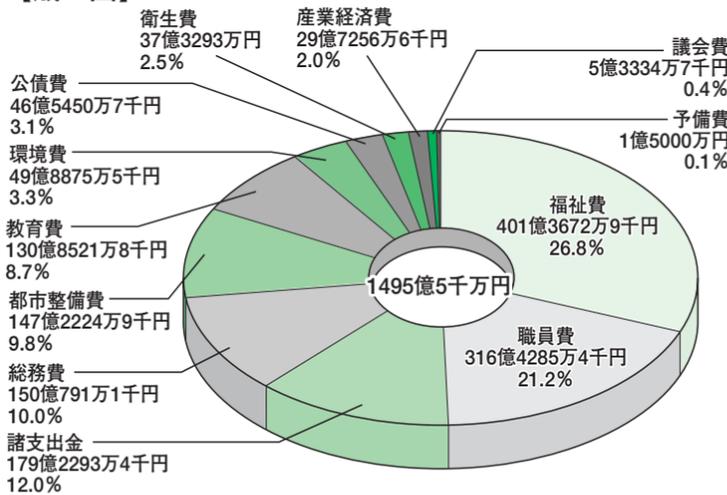
平成20年度予算を審査

一般会計

【歳入】



【歳出】



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。
 ※歳入のその他は、繰越金など。

平成20年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成20年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾議会公明党

創意工夫した施策で目指す
 区民と創る元気なかつしか

株価の下落、原油の高騰による消費者物価の上昇等、経済の先行きに不透明感が広がっています。特に、中小零細企業の多い本区では、景気減速への不安を感じている区民の声も多く聞いているところでもあります。また、現行国で審議されている税制改正の動向によつては、本区の財政にも多大な影響を及ぼすことが懸念されますが、本区が自立した基礎自治体として、簡素で効率的な行政運営の遂行はもとより、いかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応できる財政基盤の確立を図つていく必要があると認識しております。

このような中、平成20年度当初予算は、重要施策及び重点事業に貴重な財源を効果的かつ効率的に振り分けて編成され、また「経営改革大綱」「改革パワーアッププラン」に掲げる経営改革の取り組みを着実に推進し、新たに本区をアピールする多くの施策に取り組んだことは高く評価します。

総務費——魅力ある葛飾とするために予算配分に考慮し、区民サービスの観点から、利用頻度の高い庁舎トイレ等の改修、行き届いた清掃を求めます。コールセンターの検討は是非前向きに取り組んで欲しいと思います。人権推進問題は、施策の充実を図る上からも庁内での横断的な対応を求めます。文化会館改修にあたっては環境に配慮した設計を望みます。

産業経済費——「るるぶ情報版葛飾区」「まつぶるマガジン葛飾区」の有効利用で、本区のさらなるPRを要望します。雇用の厳しい葛飾において、雇用・就業マッチング支援事業の力強い推進を求めます。中小企業融資事業は、いねいな対応を望みます。

福祉・衛生費——保育料の多子軽減策、待機児童の解消策、わくわくチャレンジ広場の拡充、(仮称)子ども総合センター等の建設準備のほか、発達

障害児への対応、妊婦健診の無料化、こんにちは赤ちゃん事業等、子どもを産み育てたくなる環境づくりを進め、「子育てするなら葛飾で」の実現を望みます。高次脳機能障害者への事業とボランティアの育成が予算計上されたことは評価します。後期高齢者医療制度や特定健康診査、特定保健指導の実施にあたり、区民の理解が得られるよう周知徹底を求めます。保健医療計画の策定は、救急医療対応などについて高い水準が確保できるよう望みます。

環境費——葛飾区地球温暖化対策地域推進計画の施行にあたり、緑のカーテン事業の推進とともに、CO2削減の効果がわかるような太陽光発電システムの取り組みを望みます。保存樹木助成など、緑の保全により力を入れるとともに、水生生物、植物を再生できる環境行政の推進や区民農園の施策の充実を望みます。

都市整備費——建築確認が円滑に行われることを要望します。区民が安心して水辺と触れ合えるワンドの再生、発災時には緊急避難に使用できるポール遊び用ケージの防災公園への設置、緑化と愛郷心育成を目指した記念植樹、菜の花を生かした「花いっぱい」の街づくりについても実現を求めます。

教育費——学力、文化、スポーツ、生きる力を身につけることで、他区に引けを取らない葛飾区を築くことを要望します。特に、転入時の学校選択制の適用、学力向上に向けた取り組みの充実・強化、中学生の職場体験の充実、家庭の芝生化など環境教育の推進、放課後子ども事業の拡充、「ナンバーワン」「オンリーワン」として誇れる中央図書館の建設、地元要望にこたえた葛飾図書館の跡地利用、都立高校の開放などについて、前向きに検討することを求めます。また、遊びや学びの多くの体験から豊かな感性、創造力、知的好奇心を高めることのできる施設の実現を要望します。特別会計では、出産育児一時金の拡充など出産時の経済的負担の軽減、生活保護者への保健指導の実施について要望します。

自由民主党議員団

「区民と創る元気なかつしか」の実現に向けて

平成二十年度一般会計予算は、全体的には堅実に編成されており、高く評価します。以下、項目別に、わが党派の意見・要望を申し述べます。

総務費 総合庁舎整備基金積立金が利息分のみ計上されているが、劣化診断の結果を待つことなく、継続的な積立てを行うための資金計画を検討すべきではないか。震災復興マニュアル策定事業は、マニュアル作成のみにとどまらず、想定される被害状況に対応した検証を行うとともに、将来の復興を視野に入れた対策の充実に望む。

産業経済費 観光レクリエーション事業経費のユニバーサルデザイン化推進事業と、まちなみ情緒再生事業は民間の方が積極的に取り組んでいるが、行政側もうまく関わり、事業を成功させていきたい。葛飾ブランド品の認知度を高めるため、テクノプラザかつしかや区役所本庁舎を初めとして、もっと区民の目に触れる場所で展示がされることを要望する。

福祉費 高次脳機能障害者に対する更なる支援や、障害者通所施設運営費の助成などについては評価します。高齢者施策については、特定高齢者の把握を進めるとともに一般高齢者に対して介護予防事業をしっかりとPRしていただきたい。ねたきり高齢者福祉事業のおむつ支給については、介護度により基準が設けられているが、介護度が低くてもおむつを必要とする区民もいるので実態を踏まえた対応をしていただきたい。扶助費の予算に占める割合が多く、財源は区民の貴重な税金であり、たとえば区民税の申告通知などを介して納税者に用途を判りやすく説明すべきである。

衛生費 中学校に設置するAEDについては大いに評価するが、江戸川河川敷の柴又野球場など多くの人がスポーツをする場所にもAEDの設置を

急がりたい。環境費 生垣化、屋上・壁面緑化事業については、PRと啓発に積極的に取り組んでもらいたい。太陽光発電については、区民が利用しやすい制度や内容を検討し、環境教育の観点から、小中学校への設置を強く進めてもらいたい。

都市整備費 高砂駅踏切対策では、金町線高架化後の乗り換え利用者の安全性と利便性の確保に努めるよう、京成電鉄への積極的な働きかけを求める。JR金町、亀有、綾瀬駅から東京地下鉄西日暮里駅乗り換えの際の運賃問題に関しては、区議会からも意見書を出すなどJR東日本に働きかけているが、未だ良い回答がない。区としての積極的な働きかけを求める。

公園費については、水辺自然再生として、重点を置いて整備したことについて評価するが、より区民に利用しやすい管理体制に努めてもらいたい。教育費 学校教育活動指導経費の充実に、学習支援講師「クラサポーター」に加え、新たに「学習サポーター」を重点配置したことを高く評価する。学力向上とともにスポーツ・芸術に対する施策の充実に一層努めてもらいたい。

教育振興ビジョンを推進するために、教職員への指導体制、魅力ある校長等の確保が必要である。小中学校の建て替えについては早期にタイムスケジュールを作成し、資金計画も検討すべきである。学校体育館の放送機器は老朽化により不具合があり、速やかな改善を望む。地域図書館については、未だ利用不便地域が残されており、地域活性化のための対応を求める。

その他、わが党派の委員からの意見・要望が各施策に反映されるよう希望します。最後に、国民健康保険事業特別会計では4月からの新医療制度への改正、社会情勢の変化により、収納率を注視する必要があります。一般会計からの繰り入れも増えるため、さらなる対策を検討すべきと考えます。

最後に、国民健康保険事業特別会計では4月からの新医療制度への改正、社会情勢の変化により、収納率を注視する必要があります。一般会計からの繰り入れも増えるため、さらなる対策を検討すべきと考えます。

自由民主党区民会議

区民の目線に立つて 夢と希望あふれる葛飾に！

平成20年度当初予算編成は厳しい社会経済状況の下、起債や基金からの借入金を抑え、将来に備えた積み立てを行うなど財政運営上、健全な予算編成であることを高く評価する。

総務費 行革推進は区民サービスの向上を最優先に考えた取り組みを望む。大学誘致にあたっては周辺地域の将来像を明確に示し、多額の投資に見合う経済効果等の活性化に資する事業として進めることを望む。文化会館・亀有文化ホール等の指定管理者は次期事業を選定にあたって区民サービス向上と経費削減の効果を明確に示した選考を望む。期間を3年から5年に延長することは、安定したサービス提供が期待でき評価するが、期間延長によりさまざまなリスクの高まりが予想されるため、その対応を明確に協定の中に盛り込むことを強く求める。さらに指導監督する立場から組織の整備を求める。

産業経済費 不況対策の充実と観光事業のさらなる振興策を望む。農業振興は食の安全、後継者育成事業充実を望む。福祉費 民生児童委員が地域の中で果たす役割は益々重要になってきており一日も早く欠員を補充すべきである。障害者自立支援の取り組みは国に先駆けた施策として評価するが、親自身が要介護状態になった時や死亡した時など、自立支援は十分と言えないので葛飾らしい対応を要望する。子育て支援策は大変評価するが、本区の地域性を考え、パート・アルバイト、自営手伝い等の就労者に対し、保育等支援策を考えるべき。

衛生費 AEDを地区センターを初め、学校等の公共施設に配備してきたことは評価するが、今後は外勤職員等に研修を受講させ、公用車にAEDを積載し、より積極的に区民の緊急時に対応すべきである。食の安全と安心を

考へ、冷凍食品農薬混入事件での初期対応を教訓に、今後の危機管理上、さらなる体制整備を検討すべきである。環境費 葛飾区地球温暖化対策地域推進計画を踏まえ、温室効果ガスの積極的な削減に努めるべきであり、自然エネルギー利用においては、太陽光発電・風力発電等の予算を削除することなく取り組むべきである。

考へ、冷凍食品農薬混入事件での初期対応を教訓に、今後の危機管理上、さらなる体制整備を検討すべきである。環境費 葛飾区地球温暖化対策地域推進計画を踏まえ、温室効果ガスの積極的な削減に努めるべきであり、自然エネルギー利用においては、太陽光発電・風力発電等の予算を削除することなく取り組むべきである。

都市整備費 都市計画マスタープランの見直しでは従前のプランを総括し、今後の方向性や指針を明記すべきである。都市計画道路や土地区画整理事業を施行すべき区域は、長い間建築制限等を地権者に対し強いているので、早期実現に努めるべきである。また、そのためには、組織整備や職員のエキスパート化、専門員の配置を考えるべきである。東金町一丁目・新宿六丁目の街づくりは、金町駅へのアクセスや北部地域からのアクセス等交通の結節点整備とともに地域のインフラ整備をすべきである。また、河川の利用等を取り入れた地域一体の街づくり、かつ本区の特徴を生かした賑わいと潤いのある街づくりをすべきである。

教育費 今後10年で40校、20年ではほぼ全ての学校が改築時期を迎えることから、基金の積み立て、取り崩し額など区の財政計画とも整合性を図り、早急に学校改築実施方針の作成を望む。学校給食は、食材の安全確保に留意していることは評価する。児童生徒の郷土愛を育むためにも地産地消を進めるよう望む。校庭の夜間照明は、区民のスポーツ活動の場や災害時の避難場所として活用でき、また校庭の芝生化は環境問題からも必要なので積極的な取り組みを期待する。小中一貫教育は「葛飾モデル」の研究結果が一貫教育校以外の小中連携教育の充実に結びつくよう望む。わくわくチャレンジ広場の運営は、教育委員会が中心となり、学習活動など教育要素を加味しながら取り組んでいくとあるが、これまでに地域の中で築き上げてきたサポーターのチームワークや活動との調和を十分に図ることを望む。

医療機関の窓口で全額払わなければならぬ資格証の発行は、足立、江戸川、墨田等の隣接区に比べても、桁違いに多く発行しています。区民から医療を取りあげる区の姿勢をあらためるべきです。

「日雇い派遣」「ネットカフェ難民」、若もの雇用が深刻です。区の役割は、本来働くものぐらしをまもる手本となるべきなのに、正規職員を際限なく減らし、パートを増やしてきました。これを「行革」の成果と強調しました。これが自治体のもべき態度でしょうか。

区は正規雇用を促進すべきなのに、「雇用・就業マッチング支援事業」を人材派遣会社に委託します。これこそミスマッチではないでしょうか。食の安全に背をむける検査体制の放棄 冷凍毒入りギョーザ事件は、輸入食

日本共産党葛飾区議会議員団

基金七百億円の一部を使い 区民生活を応援する区政に

区民生活は大変な状況です。いまこそ「住民の福祉の増進」につとめるべき身近な自治体が、その役割をはたすときではないでしょうか。

ところが二〇〇八年度予算案は、区民に冷たく背をむけたものとなっています。しかも、来年度末には七百億円を超える基金積立をおこなうのです。基金の一部を使って、区民の切実な願いを実現すべきです。

後期高齢者医療制度は中止・撤回を 四月から実施される後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者を差別するものです。これに対し区は、東京都広域連合まかせという態度です。こんな制度は中止・撤回するしかありません。

毎年値上げする国保料 一九九九年度を除いて九四年度から毎年値上げし、増税に追い打ちをかけてきました。医療機関の窓口で全額払わなければならない資格証の発行は、足立、江戸川、墨田等の隣接区に比べても、桁違いに多く発行しています。区民から医療を取りあげる区の姿勢をあらためるべきです。

「日雇い派遣」「ネットカフェ難民」、若もの雇用が深刻です。区の役割は、本来働くものぐらしをまもる手本となるべきなのに、正規職員を際限なく減らし、パートを増やしてきました。これを「行革」の成果と強調しました。これが自治体のもべき態度でしょうか。区は正規雇用を促進すべきなのに、「雇用・就業マッチング支援事業」を人材派遣会社に委託します。これこそミスマッチではないでしょうか。食の安全に背をむける検査体制の放棄 冷凍毒入りギョーザ事件は、輸入食

品の検査体制の貧弱さを露呈しました。区はこれに逆行し、保健所がおこなっている検査を縮小しようとしている。これでは区民の健康と安全をまもることはできません。

子育て、中小企業支援には後ろ向き 学童保育クラブは、ひきつづき大規模化がすすんでいます。増設こそ一番の解決策です。保育園でも、待機児がふえています。公立保育園をもっとつくるべきなのに、逆に民営化をすすめています。

第三子以降の保育料無料化はよいのですが、条件がきびしく、対象は百二十人程度です。すべての第三子以降の無料化を求めます。中小企業のまちなのに、区の姿勢は後ろ向きです。悉皆調査をおこない実態把握につとめるとともに、大規模展示会等、区が積極的にとりこんでいくべきです。そのための予算も体制も、つよめるべきです。

人類の未来にかかわる地球温暖化対策 現在、計画を作成中の葛飾区は、削減目標をもたず、一つひとつの事業の目標も不明確です。太陽光発電設備の推進など、目標をもって積極的に取り組むべきです。積立て先にあきりの庁舎建替基金 庁舎劣化診断が予算化されました。いずれは建替が必要で、そのための基金も否定するものではありませんが、調査も計画もこれからというのに、すでに一億円を積立てました。これでは、積立て先にあきります。

日本共産党区議団は、区民の願い実現へ予算組み替え動議を提出しました。が、自民、公明、民主等オール与党の反対多数で否決となりました。妊婦健診の十四回無料化、三菱製紙跡地の巨大ショッピングセンター計画撤回など、区民のみなさんといっしょにとりくみ、実現できました。

くらしと営業、命と健康、平和と民主主義を応援する区政へ、これからも全力でとりくんでまいります。

民主党 葛飾

区民本位のサービス向上と
区政情報の積極アピールを

全体として、堅実な予算の組み立て
となっており評価したい。

総務費 本年も高砂の鉄道連続立体事
業に備えるべく、まちづくり基金とし
て30億円を充てたことを高く評価する。
区政情報を発信する貴重な媒体である
FMかつしかに対して、番組提供2千
800万円の支出をするのであるが、より
一層の聴取者を獲得するため、販促物
を作るなどの工夫をして頂きたい。

産業経済費 雇用就業マッチング事業
において、区内失業者に対し就業機会
を与えることは当然として、区内産業
振興のためにも、区外に対しても本区
へ労働力を呼び込み、定住できる仕組み
づくりを検討し、事業拡大をお願いし
たい。また、区内伝統産業保護育成事
業として職人弟子入り支援事業を新設
全国に発信をしていくことについて、
新しい取り組みとして、成果を期待す
るものである。

福祉費 高次脳機能障害者支援事業と
してリハビリのための予算が組まれた
ことを高く評価する。高次脳機能障害
者が地域で安心して暮らしていくため
には、住民や関係機関の職員などの障
害を支える周囲の理解が必要となるた
め、この障害の理解を深めるための講
習会の拡充、職員に向けた研修会を開
催していくことを要望する。発達が遅
れている子ども達に関しては子ども発
達センターの充実を図るとともに心理
療法士等の専門家の訪問事業を拡充す
ることを要望する。また、待機児解消
のため今後も努力することを望む。企
業内通所授産施設事業は中間就労施設
として非常に効果が高い。今後も障
害者就労支援事業として継続していくこ
とを強く要望する。

衛生費 飼い主のいない猫の里親探し
事業を評価する。今後は飼い主の意識
を高め「捨てさせない」ことも大切。
そのために、任意の登録制度やマイク

ロチップの導入に取り組むことを要望
する。

環境費 環境推進に対する積極的な区
の姿勢が見えるよう、環境に取り組ん
でいるというメッセージを区民にわか
りやすく打ち出すことを期待する。緑
のカーテン普及事業経費は区民が取り
組みやすくするよう今後ネット等に対
する助成等の仕組みを構築し、マンシ
ョンのペランダ緑化など新しい形式の
助成を要望する。生垣化推進経費、自
然エネルギー利用促進経費等は昨年ベ
ースの目標設定ではなく、積極的に目
標値を定め緑化推進するよう要望する。

都市整備費 街づくりに対する積極的
な姿勢が見られ高く評価する。都市計
画マスタープランの見直しは区民、専
門家を含めて活発な議論を行い、協働
して街づくりを推進するよう要望する。
建築確認については民間検査機関の確
認状況を捉えながら建築確認の迅速化
を改めて要望する。高砂の街づくりは
連続立体交差事業が都営団地建て替え
を契機に推進されることを期待する。

教育費 これまでわが会派が主張して
きた教育委員会会議録を作成し、ホー
ムページ上で公開するための新規の予
算計上や、特色ある学校づくり推進経
費の増額は高いに評価できる。しかし
ながら教育委員の安易な増員について
はわが会派もやむを得ぬ事情から賛成
はしたものの、これまでの行革の流れ
からすると疑問が残る。時期を見計ら
って5人に戻すべきだと考える。中学
校の職場体験について、区内企業中心
は当然のことであるが、区内に拘らず
多くの企業に受け入れてもらう努力を
すべきである。また、博物館について
は券売機の借上料の負担を考えると人
材を雇用して対応した方が良いと思う。
また博物館併設の駐車場については利
用者以外も使用しているという声があ
るので適切な措置を講ずることを望む。
図書館については利用者の利便性を図
る上でも来年秋に開館する中央図書館
の年末年始の休館日を極力へらすこと
を強く要望する。

各特別会計 事業の着実な執行を望む。

葛飾区民連合

主要政策は将来像とアウト
カムを前提に執行せよ

葛飾の未来に係る重点施策が山積す
る20年度は、区民の血税を適正に執行
する体制とするために将来像とアウト
カムが不可欠となる。

総務費 区庁舎整備基金のスター
トは評価するが区民の生活や情報、危
機管理システムに係る心臓部である庁
舎建替えに関し、早急なビジョンと計
画を示されたい。また、起債を借金や
負のイメージとして示さず、区民生活
と行政の安定化の方法論、指標として
捉えるべき。更に庁舎の一部や、記念
館、公共施設の整備計画に際し、区民
の参加意識とインセンティブを高める
アウトカムを掲げ、住民参加型公募債
を提案する。

福祉費 第3子以降保育料無料を、
3子同時在園に限るとの行政視点は見
直し、親の視点から、第3子以降と
して拡大すべき。障害者就労支援事業
では特例子会社就労事業の設立が雇用
拡大と社会貢献をもたらすと期待する。
衛生費 新型インフルエンザ行動
計画とパンデミック対策の推進を望む。
AEDの中学校全校設置は評価する。

都市整備費 新小岩駅南北自由通
路整備計画の中で区民ニーズと南北の
街の活性化の実現を期待する。京成高
砂駅周辺のまちづくりでは、鉄道立体
化と共に一定のビジョンを示されたい。
教育費 わくチャレの防犯体制を
指摘する一方、発足当初のパワーが持
続せず地域格差が問われる中、学童ク
ラブ等を主体とした共存、運営委託を
図るべき。小中一貫教育では将来像や
道筋が示されておらずOEC Dや他国
の分析、先行区の状況も示さず、本区
独自の小中一貫教育を謳うには説得力
に欠ける。児童と教育現場を中心に時
間をかけて研究すべき。中学生職場体
験では需要と供給が保たれておらず、
子ども区議会、消防団や地域の体験ボ
ランティア等の活用も期待する。

ランティア等の活用も期待する。

無所属

マンネリ化した官僚的な
予算案に断固として反対

4月から後期高齢者医療制度が強制
的に実施され、満75歳以上のお年寄り
が保険料の値上げや医療費の負担増に
泣かされることになりました。

長い間にわたり戦中・戦後の日本を
支えてきた功労者に対してなんと
むごい仕打ちをするのでしょうか。
お年寄りを軽んじ、粗末にする国家・
民族が必ず衰退することは洋の東西
古今を問わず歴史の証明するところ
です。

また、一方では区民の合意を得ない
まま大学を誘致すると称して、450億円
の借金をして、元値一平方メートル17
万5千円の土地を45万円で買うという
綱渡りを演じつつあります。

健全な地方自治体の運営とは緊縮財
政のもと、福祉に重点を置き、明日を
見据えた教育に力を注ぎ、庶民が安心
して安全に暮らせる街づくりを進める
ことにあります。

首長の功名心を満たすために財政的
なアウトを行うことに反対します。
それよりも大勢のお年寄りや家族の
方々が待ち望んでいる特別養護老人ホ
ームの建設や、入所待ち待機児ゼロを
目指して保育園の増設をすべきである。
また、葛飾区が発注する土木建築工
事の請負業者を選定する方法が旧態依
然として、一般競争入札制度を行わず
談合の発生しやすい体制を続行してい
ることは問題である。夏休み中に施工
すべき学校の改修工事が入札妨害的な
行為によって施工不能が多発してい
ることは反省すべきである。

京成立石駅北口再開発事業について
は、地権者の意見が分裂しているが、
区は傍観者の態度をとっているため先
行き不透明である。立石のまち興しの
ため積極的に努力すべきである。
青戸三丁目の公有地不法占拠は30余
年を経ても未解決である。不法行為を
是正して歩行者の権利を守るべし。

無所属

高齢・障害者・子育て支援
医療・介護・教育の充実を

大学誘致は未決定のまま区民税の約
328億円より多い約450億円(原価4倍程
度の値段)で土地を買収し、仮に大学
が来ない場合は違約金約89億円を区民
が負担することに区長の責任は大きい
が、国、都の財政状況は全く不透明
である。妊婦健康診査、母子双方歯科
予防措置、学童保育・保育所の増設等
わくチャレも含めて評価する。学力・
体力向上・道徳・特別支援教育等の学
校教育の充実を図ること。がん検診の
拡大、予防接種、障害児歯科等は評価
する。三菱製紙跡地に特養老人ホーム
が建設中で170名が措置され21年6月に
完成するが、認知症対策も充分配慮す
ること。高齢者対策は介護・医療・保
険・年金等に重点的に取り組み、障害
者対策も乳幼児早期療育・就労訓練・
重度知的障害者・通所施設への助成、
精神障害者就労支援施設の整備等の充
実、高次脳機能障害者等への支援の拡
大や充実を図りたい。安全・安心対
策はAEDの設置、耐震化・橋梁の架
替え・防災無線・沿道不燃化・避難路
整備・防犯等は評価する。産業活性化
の新規予算で中小企業、商工業や観光
事業等の充実が図られたい。新小岩
周辺・金町南口開発に伴う中央図書館
の建設等及び南北道路開通工事・東金
町1丁目整備・立石地区・押上線立体
化・踏切対策及び高砂地区の開発は喫
緊の課題である。さらには四つ木・堀
切・東立石・青戸6・7丁目等計画等
も進め、地下鉄8・11号・メトロセブ
ン・新金線旅客化等は、調査研究から
脱皮し実行すべき認識が未だに消極的
であり税金の無駄使いを指摘する。区
役所を全面改築する基金が計上された
が、全く計画性に乏しく区民の考え方
に逆行する。その予算を廃止し、福祉・
教育・環境・医療・介護・子育て・人
権等の施策に充当すること。

予算審査特別委員会
委員長報告(要旨)

予算審査特別委員会は、2月20日の
本会議において、39名の議員の構成を
もって設置され、平成20年度各会計予
算について審査を行ったものです。当
委員会では、詳細な審査を行うため、
4分科会を設置しました。

第1分科会は19名の委員により、一
般会計予算のうち、議会費、総務費、
産業経済費及び職員費を、第2分科会
は20名の委員により、福祉費及び衛生
費を、第3分科会は19名の委員により、
環境費及び都市整備費を、第4分科会
は20名の委員により、教育費、公債費、
諸支出金、予備費ならびに各特別会計
予算を、それぞれ審査事項としました。
3月3日の当委員会では、総括質疑
を実施し、11名の委員から区政運営全
般について、多角的かつ大局的に質疑
が交わされました。

また、各分科会は3月4日から7日
までそれぞれ1日ずつ開催され、所管
事項の審査を行った結果、各分科会長
から審査が終了した旨の報告書が提出
されたので、当委員会は、3月11日、
各分科会長から審査経過及び各会派か
らの意見の報告を受けました。
続いて、一部の委員から提出された
平成20年度葛飾区一般会計予算の組み
替えを求める動議について、提出者代
表から提案説明を受け、採決を行った
結果、動議は賛成少数で否決されまし
た。

そのうえで、付託議案6件について
順次採決を行った結果、「平成20年度
葛飾区一般会計予算」、「平成20年度葛
飾区国民健康保険事業特別会計予算」、
「平成20年度葛飾区後期高齢者医療事
業特別会計予算」、「平成20年度葛飾区
駐車場事業特別会計予算」は、賛成多
数で原案のとおり可決すべきものと決
定しました。また、「平成20年度葛飾
区老人医療事業特別会計予算」、「平成
20年度葛飾区介護保険事業特別会計予
算」は、全会一致で原案のとおり可決
すべきものと決定しました。

次の定例会は6月開催予定です

可決された議案等

議案名下の分は意見の分かれた議案(各会派の賛否は下欄参照)

【区長提出議案等 39件】

予算 10件

▼平成20年度一般会計予算分

▼平成20年度国民健康保険事業特別会計予算分

▼平成20年度後期高齢者医療事業特別会計予算分

▼平成20年度老人医療事業特別会計予算分

▼平成20年度介護保険事業特別会計予算分

▼平成19年度一般会計補正予算(第3号)分

▼平成19年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

▼平成19年度老人医療事業特別会計補正予算(第2号)

▼平成19年度駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

▼総合庁舎整備基金条例分
総合庁舎の整備に要する資金に充てるため、基金を設置する。
▼後期高齢者医療に関する条例分
後期高齢者医療制度の創設に伴い、必要な事項を定める。
▼教育委員会組織条例
教育委員会の組織に関し必要な事項を定める。

制定する条例 3件

一部を改正する条例 16件

▼組織条例分

後期高齢者制度の創設に伴い、福祉部の分掌事務に後期高齢者医療に関するものを追加する。
▼職員定数条例
職員の定数を3千400人から3千330人に削減する。
▼職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
▼幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児短時間勤務職員等の勤務時間、休日、休暇等に関し必要な事項を定めるほか、所要の改正をする。
▼職員の育児休業等に関する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児短時間勤務職員等に必要な事項を定めるほか、所要の改正をする。
▼区長等の給与等に関する条例
区長、副区長及び収入役の地域手当の額を給料月額に100分の12を乗じて得た額とする。
▼区長等の給料等の特例に関する条例
区長、副区長、収入役、教育長及び常勤の監査委員の給料等の特例措置を1年間延長する。
▼職員の給与に関する条例
▼幼稚園教育職員の給与に関する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児短時間勤務職員等の給与に関し、必要な事項を定めるほか、所要の改正をする。
▼職員の退職手当に関する条例
定年退職等の場合の退職手当の基本額に係る支給割合を改めるほか、所要の改正をする。
▼事務手数料条例分
建築物に関する計画通知手数料等を新設し、及び建築物に関する確認申請手数料等の額を改めるほか、規定の整備をする。
▼国民健康保険条例分
保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

▼ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例
老人保健法の改正に伴い、規定の整備をする。
▼区立公園条例
東立石緑地公園(東立石四丁目6番10号)及び本田第二公園(立石二丁目23番14号)を新設する。
▼区立学校設置に関する条例分
保田養護学校の名称を「保田しおさい学校」に改めるほか、西小菅幼稚園を廃止し、東柴又幼稚園を北住吉幼稚園に統合する。
▼保健所使用条例及び保健センター条例
使用料の算定の基礎となる厚生労働省告示の施行に伴い、規定の整備をする。

契約 1件

▼都市計画道路補助第330号線整備工事請負

その他 9件

▼特別区道の路線の廃止
西亀有三丁目から亀有五丁目まで(総延長1千208.09m)ほか4件
▼特別区道の路線の認定
西亀有三丁目(総延長80.91m)ほか6件
▼特別区道の路線の認定(重複)
▼区域をこえての路線の認定の承諾
足立区綾瀬二丁目から西亀有二丁目まで(総延長940.28m)ほか3件
▼葛飾区と足立区の行政境界に係る道路の管理に関する協定
本区と足立区の行政境界に係る道路の管理について、足立区と協定を締結する。
▼特別区人事及び厚生事務組合規約の一部変更分
▼東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

▼教育委員会委員の任命同意分
秋本則子氏を任命することに同意
▼監査委員の選任同意分
高橋計次郎氏を選任することに同意

【議員提出議案 7件】

意見書 7件

意見書名下の分は意見の分かれた意見書(各会派の賛否は左欄参照)

▼地方自治体の安定的財政運営のための道路特定財源の確保に関する意見書分
▼地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書
▼「バイオマス推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書
▼中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書
▼筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の救済を求める意見書
▼輸入食品の検査体制の強化を求める意見書
▼年金記録問題の速やかな解決を求める意見書

意見の分かれた案件

(○賛成、×反対、-表決に加わらず)

件名	会派名()内は会派所属議員数								議決結果
	公明(11)	自民(10)	自区(6)	共産(5)	民主(4)	区民(2)	無(1)	無(1)	
予算	▼平成20年度葛飾区一般会計予算								可決
	▼平成20年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	
	▼平成20年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	
	▼平成20年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	
	▼平成19年度葛飾区一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	×	
条例	▼葛飾区総合庁舎整備基金条例								可決
	▼葛飾区後期高齢者医療に関する条例	○	○	○	×	○	○	×	
	▼葛飾区組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	
	▼葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	
	▼職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	
	▼幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	
	▼職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	
	▼職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	
	▼幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	
▼葛飾区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○		
その他	▼特別区人事及び厚生事務組合規約の一部変更について	○	○	○	×	○	○	○	可決
	▼葛飾区教育委員会委員の任命同意方について	○	○	○	○	○	○	×	同意
	▼監査委員の選任同意方について	○	○	○	×	○	○	○	同意
意見書	▼地方自治体の安定的財政運営のための道路特定財源の確保に関する意見書	○	○	○	×	×	○	×	可決

公明=葛飾区議会公明党、自民=自由民主党議員団、自区=自由民主党区民会議、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民主=民主党葛飾、区民=葛飾区民連合、無=無所属

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名									
葛飾区議会公明党	荒井彰一	黒柳山銀一	上原ゆみえ	小山たつや	牛山初夫	大塚正夫	武井よう子	くぼ出口	洋子	よしゆき
自由民主党議員団	秋本大	森義明	秋加藤	聡のぶたか	安倉	西沢俊	池田ひさよし	石舟新	井坂みさお	みさおちか
自由民主党区民会議	会田浩	岸貞	梅沢五	沢十六	小用	進	清水	忠	新	秀男
日本共産党葛飾区議会議員団	中江秀夫	江たかし	村しんご	小林ひとし	野島英夫	三小田准一	渡辺好枝	一	渡	好枝
民主党葛飾	内田たかし	高たく	むらまつ	勝康	早川久美子	米山真吾				
葛飾区民連合	大高	たかし	むらまつ	勝康						
無所属(記載順が先のもの)	石田千秋									
無所属(記載順が後のもの)	工藤	きくじ								

広報委員

委員長 秋本こうたろう
副委員長 上原ゆみえ
委員 杉原よう子
委員 安西俊一
委員 新安村秀男
委員 中西秀夫
委員 沼田たかし
委員 菱沼実

(区議会事務局)

次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です